

エコアクション 21



環境経営レポート

{2023年7月～2024年6月}

【第17版】

2024年8月30日作成



河津造園
TAKUMINO GROUP

河津造園 株式会社

【目 次】

1.	環境経営方針	P1
2.	事業概要	P2～P3
3.	再資源化処理フロー図	P4
4.	環境活動実施体制	P5
5.	1) 2023年度環境経営目標の実績、実績に対する評価	P6～P7
	2) 2021年から2023年のCO2排出量実績	P8
	3) 中期環境経営目標	P9
6.	1) 環境経営計画及び取り組み結果の評価(リサイクル工場事務所)	P10
	2) 環境経営計画及び取り組み結果の評価(工場・現場)	P11
	3) 環境経営計画及び取り組み結果の評価(本社)	P12
7.	環境関連法規の遵守状況	P13
8.	代表者による総合的見直し	P14
9.	環境活動事例	P15
10.	2023年度環境教育年間計画	P16
11.	表彰	P17～18

環境経営方針

活動方針

河津造園株式会社は、造園・木くずリサイクル事業(一般・産業廃棄物中間処理業)を営んでいますが、リサイクル部門に於いては、木くず(剪定枝等)を地球上の大切な「バイオマス資源」と捉え、自然への還元を目指しています。また、それに伴う環境負荷を認識し、自主的・継続的に環境対策に取り組むなど、環境経営の継続的改善を図ります。

- 1) 樹木リサイクル部門における木くず等の再資源化を推進し、循環型社会の構築に貢献します。
- 2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進、適正処理を徹底します。
- 3) 節電・省エネルギー化に積極的に取り組み、CO2の削減に取り組めます。
- 4) 環境関連法規制を遵守し、環境整備にも務めます。
- 5) 地下水保全に社員全員で取り組み、節水に努めます。
- 6) グリーン商品の購入促進に努めます。

制 定 2015年11月17日

改 定 2020年3月25日

河津造園株式会社

代表取締役社長 先崎 尚祐

事業概要

【1】 事業所名及び代表者氏名

河津造園株式会社
代表取締役社長 先崎 尚祐

【2】 取組事業所(登録対象事業所)
所在地

本 社	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目3-25 Tel 096-382-3333 Fax 096-382-3334
-----	---

令和2年4月より対象

リサイクル 工場	〒861-2204 熊本県上益城郡益城町大字小谷字戸次道1323-5 Tel 096-289-6444 Fax 096-289-6445
-------------	--

【3】 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者：中嶋 理
担 当：中嶋 理
連 絡 先：Tel 096-289-6444 Fax 096-289-6445

【4】 事業内容

- ・総合造園工事業（造園工事業・土木工事業）
熊本県知事 許可（般-3） 第9606号
- ・産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業（木屑等）・産業廃棄物収集運搬業

平成19年11月19日	エコアクション21認証登録
平成22年6月4日	熊本県環境省受賞
平成24年7月20日	環境省24年度カーボン・ニュートラル認証モデル事業採択
平成24年11月7日	熊本県有林オフセット・クレジット売買契約締結
平成25年5月10日	熊本市産業廃棄物処分業優良基準適合認定
平成26年10月31日	熊本県産業廃棄物処分業優良基準適合認定
令和2年7月15日	宮崎県産業廃棄物処分業優良基準適合認定
令和3年8月25日	熊本県SDGs登録事業者(第1期)

【5】 施設などの状況

1) 収集運搬車両、重機

10tダンプ	5 台
4tダンプ	1 台
バックホウ	10 台

2) 中間処理施設

破砕機 処理能力 (日量)	148 t/ 日
破砕機 処理能力 (日量)	456 t/ 日
破砕機 処理能力 (日量)	80 t/ 日

処理方式

破砕
移動式破砕
破砕

取り扱う産業廃棄物の種類

木くず(特別管理産業廃棄物であるものを除く)
木くず(特別管理産業廃棄物であるものを除く)
木くず(特別管理産業廃棄物であるものを除く)

※工程図は別途添付

【6】	事業規模	
1.	資本金	1,000万円
2.	売上高	571,65千円
3.	法人設立	昭和62年7月20日
4.	従業員数	25名
5.	敷地面積	6,439㎡
6.	木屑受入 処理数量	23,895.25 t (2023年7月 ~ 2024年6月)
7.	産廃の収 集運搬量	4,978.98 t (2023年7月 ~ 2024年6月)

【7】	会計年度	
	期首 7 月	期末 6 月

【8】 許認可一覧

許認可等の種類	取扱う産業廃棄物の種類	許認可番号	有効期限	許認可発注機関
建設業許可	造園・とび・土工・石・舗装・土木	(般-3) 第9606号	R3. 6. 20 ~ R8. 6. 19	熊本県
産業廃棄物処分業	木くず	第4321075268号	H30. 6. 27 ~ R7. 3. 11	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	木くず・がれき類・ 燃え殻・汚泥・廃プ ラスチック類・紙く ず・繊維くず・ゴム くず・金属くず・ガ ラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	第4301075268号	R3. 4. 14 ~ R8. 2. 28	熊本県
		許可必要なしに変更		熊本市
		第4000075268号	R2. 11. 25 ~ R7. 11. 24	福岡県
		第4407075268号	R3. 6. 19 ~ R8. 6. 18	大分県
		第4504075268号	R3. 2. 7 ~ R8. 2. 6	宮崎県
		第4101075269号	R6. 2. 18 ~ R11. 2. 17	佐賀県
産業廃棄物処分業	木くず	第8121075268号	H30. 3. 15 ~ R7. 3. 14	熊本市
一般廃棄物処分業	木くず	第1号	R5. 4. 1 ~ R7. 3. 31	益城町
一般廃棄物処分業	草木を含む木くず	御循環許可第2-13号	R6. 4. 1 ~ R8. 3. 31	御船町
産業廃棄物処分業	木くず	第4020075368号	R3. 7. 20 ~ R8. 7. 19	福岡県
産業廃棄物処分業	木くず	第4427075268号	R4. 1. 17 ~ R9. 1. 16	大分県
産業廃棄物処分業	木くず	第4524075268号	R1. 7. 15 ~ R8. 7. 14	宮崎県
産業廃棄物処分業	木くず	第4121075268号	R6. 3. 26 ~ R11. 3. 25	佐賀県
産業廃棄物処分業	木くず	第3500075268号	R4. 9. 29 ~ R9. 9. 28	山口県

許認可等の種類	施設の種類及び処理に関する 産業廃棄物の種類	許認可番号	許可日	許認可発注機関
産業廃棄物処理施設設置	破碎・選別施設 ①木くず	第中-269号	H30. 10. 12	熊本県
産業廃棄物処理施設設置	破碎・選別施設 ②木くず	第中-257号	H29. 9. 21	熊本県
産業廃棄物処理施設設置	破碎施設（移動式）木くず	第中-228号	H24. 6. 20	熊本県
産業廃棄物処理施設設置	破碎施設（移動式）木くず	第1201号	H24. 4. 18	熊本市
産業廃棄物処理施設設置	破碎施設（自走式）木くず	廃対第3号の1	H24. 5. 16	大分県
産業廃棄物処理施設設置	破碎施設（移動式）木くず	第568号	H24. 5. 8	福岡県
産業廃棄物処理施設設置	破碎施設（移動式）木くず	シレイ24935-16-4	H24. 5. 9	宮崎県

※産廃情報ネットにも記載しています。

産業廃棄物として受入れている木屑（建設廃材・生木・剪定枝）は破碎前に分別します。破碎後、建設廃材（家屋解体系）は発電材料として利用されます。

木屑（生木・剪定枝）等は、堆肥及び家畜用の水分調整材としてリサイクルされ、有機肥料となり再び土に還ります。

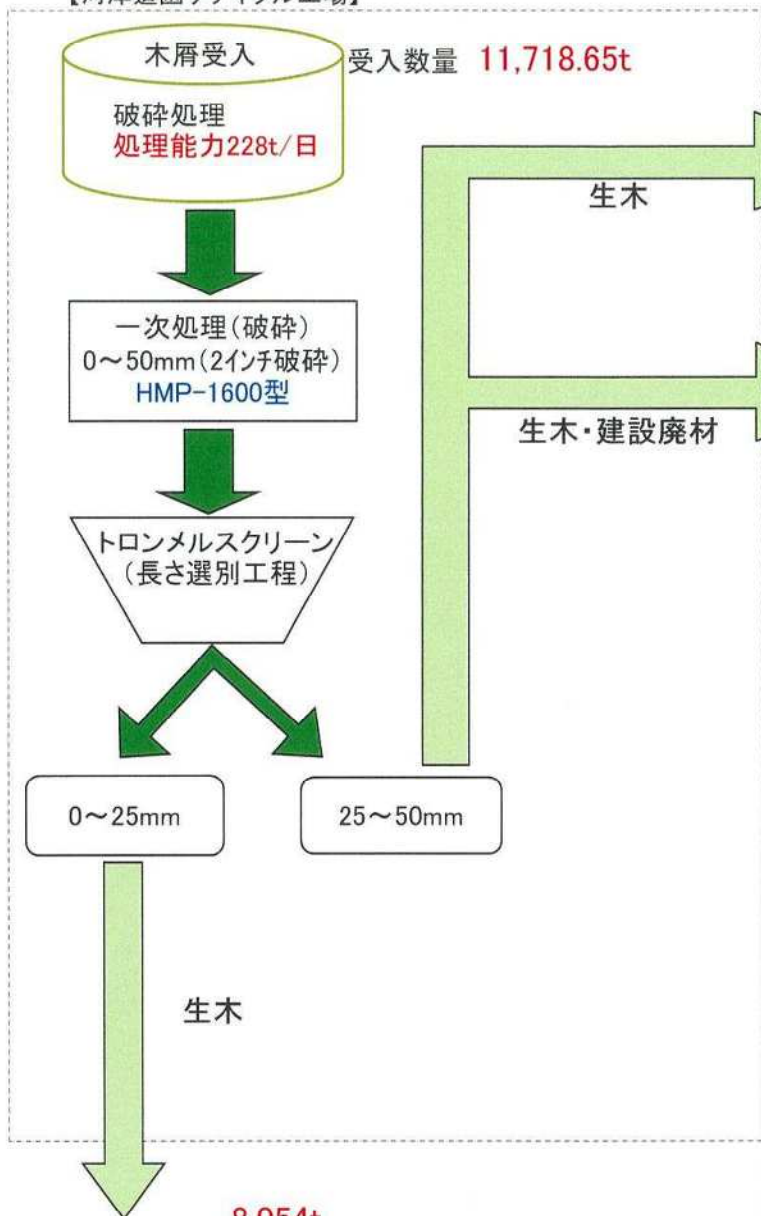
バイオマス発電の燃料として有効に利用し排出されるCO₂はカーボンニュートラルとしてゼロカウントになるということになります。

このように、当社は100%のリサイクルを行っています。

本年度発電材料として 3,664t が利用され、また残りの69% (8,053 t) は堆肥及び水分調整剤として使用されました。

再資源化処理フロー図(産廃)

【河津造園リサイクル工場】



①造園業者等に販売

- * 緑地帯等のマルチング
(防草、蒸散防止等の効果)
- * 歩道部
(クッション材)
例: 他民間施設等

3,665t

②バイオマス発電施設に販売

- * 焼却→発電
例: (株)エフバイオス, ユニックス



※破碎機にてチップ化



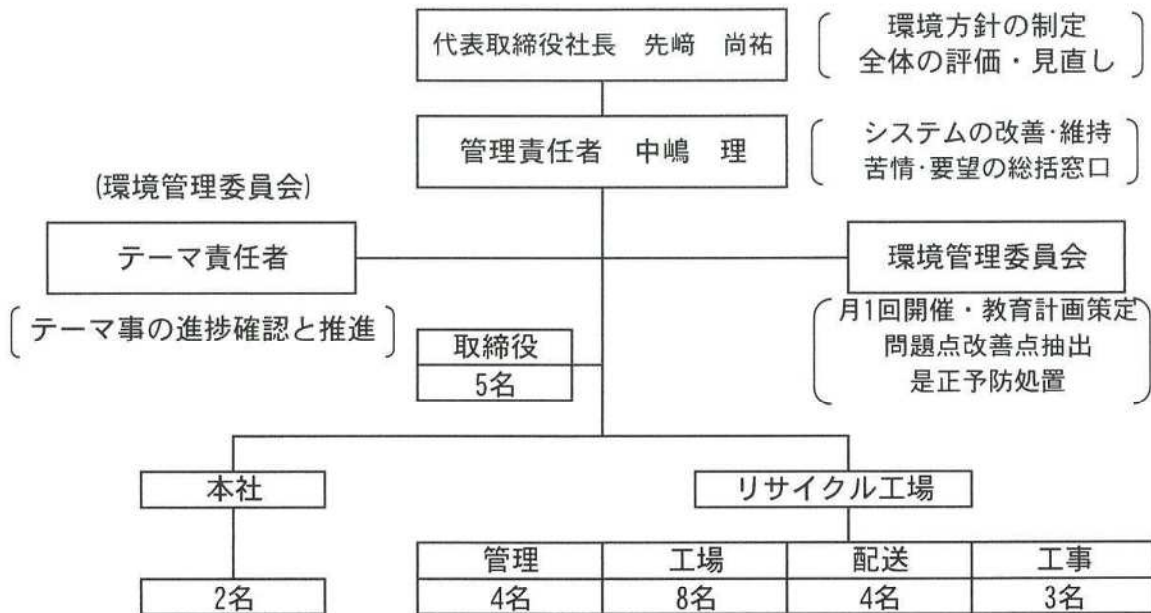
※木質チップ(一次破碎)



移動式破碎状況

※建設廃材のチップに関してはバイオマス発電にのみ販売してます。

環境活動実施体制



テーマ責任

統括（代表取締役社長）	・ 環境方針の制定・周知
	・ 全体の取組の評価、見直しをして周知
環境管理責任者	・ 活動内容及び結果の報告
	・ レポートのまとめの確認
リサイクル部	・ 品質管理、振動、騒音の徹底管理
	・ 安全教育、緊急時の対応について
工事部	・ 現場周辺からのクレーム・対応
	・ 機械燃料等の削減努力
管理部	・ 外部からの苦情、要望の対応
	・ 資源物の削減及び管理
全従業員	・ 環境方針に対しての取組内容の把握
	・ 法令遵守し、自ら行動する

2023年度環境経営目標の実績・その評価（2023年7月～2024年6月）

環境目標		単位	2022年度 (実績・基準)	2023年度 (目 標)	2023年度 (実 績)	2023年度 目標達成率（％）
①	電力使用量の削減(薪・おが粉倉庫)	kWh	26,453	26,188	21,597	121.3
②	収集運搬用軽油使用量の削減	L	62,446	61,822	51,804	119.3
③	運搬重量当りのCO2排出量の削減	kg-CO2/ t	36.4	36.0	27.3	132.0
④	電力使用量の削減(チップ製造工場)	kWh	278,596	275,810	315,427	87.4
⑤	電力使用量の削減(リサイクル工場事務所)	kWh	1,765	1,747.4	1,998	87.5
⑥	電力使用量の削減(本社)	kWh	4,451	4,406	3,356	131.3
⑦	軽油使用量の削減(チップ製造工場)	L	123,694	122,457	162,978	75.1
⑧	ガソリン使用量の削減(チップ製造工場)	L	9,582	9,486	9,331	101.7
⑨	ガソリン使用量の削減(本社)	L	1,150	1,139	1,062	107.2
⑩	チップ製造1 t 当りのCO2排出量削減	kg-CO2/ t	45.1	44.6	47.3	94.4
⑪	受託産業廃棄物のリサイクル率100%維持	％	100	100	100	100
⑫	水の使用量削減	－	(メーターなし)	節水活動	節水活動	－
⑬				雨水利用	雨水利用	
	グリーン商品購入率の向上	－	購入実績記録	購入実績記録	購入実績記録	－
⑭	社会貢献・清掃活動実施	回	24回	24回	24回	100

※中期環境目標は前年の1％減としている。

※電力のCO2排出係数は、九州電力平成30年度実排出係数0.319を使用する。

※本社は賃貸なので個別のメーターがないので数値には含まない。

※水の削減について、リサイクル工場事務所は地下水利用でメーターがないので計測できない。

実績に対する評価

- ① 電気を使用せず、人力での作業を増加させたため。
- ② 配達経由など効率的な配送を行ったため。
- ③
- ④ 電気量の増加は受け入れの量が増加したため稼働時間が増えた。
- ⑤ 事務処理の時間を削減したため。
- ⑥ 益城工場での業務が増えたため。
- ⑨
- ⑦ 木屑の受け入れ量が増加したため。
- ⑩
- ⑧ ガソリンの減少は現場での作業が続き移動距離が多少減ったため。
- ⑪ 100%達成できた。
- ⑫ 総排水量については断続的地下水を利用しているが、散水等において雨水タンクを最大限に活用し、今後も社員全員で節水に取り組んでいく。
- ⑬ エコファイル、コピー用紙、マグネットロール、ラベルインデックス等購入。
- ⑭ 来年度も引き続き継続していく。

2021年から2023年のCO2排出量実績

○全体

環境目標項目	年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	実績	679,855	624,462	704,019
	目標	574,786	673,056	618,217
木屑受入総数量(t)	実績	9,729	9,756	11,718
	目標	9,496	10,215	10,244
木屑1t当りの二酸化炭素排出量/t(kg-co2/t)	実績	64.0	60.1	47.3
	目標	69.2	63.4	59.5

○薪・おが粉工場

環境目標項目	年度	2021年度	2022年度	2023年度
電気消費量 (kWh)	実績	221,053	26,453	21,587
	目標	190,887	218,842	26,188
軽油使用料 (L)	実績	3,771	0	2,670
	目標	1,690	3,733	0

○チップ製造工場(廃棄物)

環境目標項目	年度	2021年度	2022年度	2023年度
電気消費量 (kWh)	実績	268,255	278,596	315,427
	目標	244,340	265,572	275,810
軽油使用料 (L)	実績	106,603	123,694	162,978
	目標	89,532	105,537	122,457

○リサイクル工場事務所

環境目標項目	年度	2021年度	2022年度	2023年度
電気消費量 (kWh)	実績	553	1,765	1,998
	目標	71	547	1,747
ガソリン使用料 (L)	実績	9,917	9,582	9,331
	目標	7,943	9,818	9,486

○本社

環境目標項目	年度	2021年度	2022年度	2023年度
電気消費量 (kWh)	実績	5,660	4,451	3,356
	目標	4,098	5,603	4,406
ガソリン使用料 (L)	実績	1,353	1,150	1,062
	目標	743	1,339	1,139

* CO2排出係数は、九州電力(平成30年度)0.319使用



新中期環境経営目標(2024年～2026年度)

	環境目標	単位	2023年度実績(基準)	2024年度(目標)	2025年度(目標)	2026年度(目標)
①	収集運搬用 軽油使用量の削減	L	51,805	51,286 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
②	運搬重量1t当りの CO2排出量の削減	kg-CO2/t	27.3	27.0 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
③	チップ製造工場 電力使用量の削減	kWh	315,427	312,272 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
④	益城事務所 電力使用量の削減	kWh	1,998	1,978 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑤	本社 電力使用量の削減	kWh	3,556	3,520 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑥	チップ製造工場 軽油使用量の削減	L	162,978	161,348 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑦	チップ製造工場 ガソリン使用量の削減	L	9,331	9,237 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑧	本社 ガソリン使用量の削減	L	1,062	1,051 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑨	チップ製造量1t当りの CO2排出量の削減	kg-CO2/t	47.3	46.8 △1%	基準年度実績 の△2%	基準年度実績 の△3%
⑩	受託産業廃棄物の リサイクル率100%維持	%	100	100	100	100
⑪	水の使用量削減	m3	メーターなし	節水活動 雨水利用	節水活動 雨水利用	節水活動 雨水利用
⑫	グリーン商品購入率の向上	-	購入実績記録	購入実績記録	購入実績記録	購入実績記録
⑬	社会貢献・清掃活動実施	回	24	24	24	24

2は、1のCO2排出量÷廃棄物運搬量

9は、3・4・5・6・7・8のCO2排出量÷廃棄物処分(破碎)量

* CO2排出係数は、九州電力30年度実排出係数0.319を使用

環境経営計画及び取り組み結果の評価と次年度の取り組み

1 リサイクル工場事務所

評価 ○ △ ×

項目	環境経営計画	10月	5月	次年度の取り組み
① 電力使用量の削減	・薪ストーブ使用(冬)	△	△	引き続き継続する。
	・冷房の温度29℃設定(夏)			温度の管理をもう少しチェックする。
	・昼休みは消灯する等、節電を徹底する			不要な電気を確認する
	・昼休みはブラインダーを開けて光を取り込む			引き続き継続する。
	・帰宅前パソコンの電源オフ			
② ガソリン使用量の削減	・アイドリングストップ	△	△	引き続き継続する。
	・エコドライブ(急発進・急加速・急減速をなくして車間距離、車両から離れるときエンジン停止)			乗り合わせできる場合は乗り合わせる。
③ 軽油使用量の削減				
④ 木屑処理1tあたりのCO2排出量削減(①+②+③)	・①②による	○	○	引き続き継続する。
⑤ 受託産業廃棄物のリサイクル率100%維持				
⑥ 水の使用量の削減	・節水表示	○	○	メーターが無い為使用量は不明だが節水に努めている。
				引き続き継続する。
⑦ グリーン商品購入率の向上	・エコ商品を優先的に購入する	○	○	引き続き継続する。
	・使用済インクカートリッジのリサイクル			購入先への持込リサイクルを行った。
	・購入実績記録の作成			
⑧ 社会貢献・清掃活動実施	・工場前道路500m位のロードボランティア予定(除草ごみ拾い)	○	○	熊本県の協定通り、ボランティア活動を実施した。(今年も継続実施)
				引き続き継続する。
⑨ その他の環境活動	・毎朝全員による構内清掃	○	○	引き続き継続する。
	・割り箸等を使用せず、社内用をリユースする			
	・不純物の混入の確認			持込業者の協力もあり少なかったので継続する

評価基準

○ 良好(継続)

△ 次年度の取組強化が必要

× 是正措置が必要

2 工場・現場

評価 ○ △ ×

項目	環境経営計画	10月	5月	次年度の取組み
① 電力使用量の削減	・破砕機への材料未投入時の節電等、効率的運転 ・不要時照明OFFなどのこまめな節電	○	△	全員での節電意識は向上している。 引き続き継続する。
② ガソリン使用量の削減	・アイドリングストップ ・毎朝の点検を徹底し、最良な状態で運転する ・エコドライブ(急発進・急加速・急減速をなくして車間距離、車両から離れるときエンジン停止	○	○	エコ意識の高まりで、ほぼ実行できている。 毎日チェックする事で燃費向上に努めている。 引き続き継続する。
③ 軽油使用量の削減	・アイドリングストップ ・毎朝の点検を徹底し、最良な状態で運転する ・エコドライブ ・重機作業時の効率的方法を考え、燃費の向上に努める。(動線短縮・未使用時電源OFF) ・リース機械使用時には3次規制重機を使用する。	○	△	積み待ち時には短時間でもエンジンを切る。 運転日報にエコ実践項目記入欄を追加し、 毎日チェックする事で燃費向上に努めている。 エコ意識の高まりで、ほぼ実行できているが、 更なる取組をしている。 引き続き継続する。
④ 木屑処理1tあたりのCO2排出量削減(①+②+③)	・①②③による	○	○	引き続き継続する。
⑤ 受託産業廃棄物のリサイクル率100%維持	・受託品物以外の持込防止	○	○	不純物が混入している場合があるので今後も徹底していく。持込業者に注意喚起した。 引き続き継続する。
⑥ 建設産廃のリサイクル率向上	・廃棄物の分別徹底 ・リサイクル、再資源化の推進 ・仮設工事などの、撤去品等の再利用	○	○	引き続き継続する。
⑦ 水の使用量の削減	・節水活動 ・雨水利用	○	○	工場内の散水には雨水を利用する。 引き続き継続する。
⑧ グリーン商品購入率の向上				
⑨ 社会貢献・清掃活動実施	・工場前の道路草刈の実施 ・各現場での清掃活動の実施	○	○	実施できている。 引き続き継続する。
⑩ その他の環境活動	・毎朝、構内清掃 ・強風時のチップ飛散の防止及び管理 ・工場内から道路への木屑の落下防止 ・毎朝行う機材点検項目の徹底	○	○	実行できている。 引き続き継続する。

評価基準 ○ 良好(継続) △ 次年度の取組強化が必要 × 是正措置が必要

3 本社

評価 ○ △ ×

項目	環境経営計画	10月	5月	次年度の取組み
① 電力使用量の削減	・不要時照明OFFなどのこまめな節電	○	○	全員での節電意識は向上している。
				使用時間の削減を一考の余地。
				引き続き継続する。
② ガソリン使用量の削減	・アイドリングストップ	○	○	エコ意識の高まりで、ほぼ実行できている。
	・毎朝の点検を徹底し、最良な状態で運転する			毎日チェックする事で燃費向上に努めている。
	・エコドライブ(急発進・急加速・急減速をなくして車間距離、車両から離れるときエンジン停止			引き続き継続する。
⑥ 水の使用量の削減	・節水活動	○	○	引き続き継続する。
⑦ グリーン商品購入率の向上	・エコ商品を優先的に購入する	○	○	出来る限り購入に努めている。
	・使用済インクカートリッジのリサイクル			購入先への持込リサイクルを行った。
	・購入実績記録の作成			引き続き継続する。
⑧ 社会貢献・清掃活動実施	・本社周辺での清掃活動の実施	○	○	実施できている。
				引き続き継続する。
⑨ その他の環境活動	・毎朝、構内清掃	○	○	実行できている。
				引き続き継続する。

評価基準 ○ 良好(継続) △ 次年度の取組強化が必要 × 是正措置が必要

環境関連法規などの遵守状況

年2回(8月・3月)法令チェック

河津造園株式会社

年4回パッケージエアコン・コンプレッサー簡易点検

環境管理責任者 中嶋 理

	法及び条例	対象物	対応策	確認8月	確認3月	確認
確認		工場・工事現場		工場担当者	工場担当者	環境管理責任者
1	騒音規制法 振動規制法 熊本県生活環境保全条例	破碎機 振動振機 発電機	特定施設の届出 規制基準の遵守	○	○	○
2	浄化槽法	浄化槽法	特定施設の届出・法定検査 定期点検・定期清掃	○	○	○
3	廃棄物処理法	産業廃棄物 (木くず・建廃)	保管基準の順守 保管場所に掲示板設置 産廃処理及び収集運搬の契約 マニフェストの管理	○	○	○
4	建設リサイクル法	特定建設資材(コンクリート・アスファルト)	分別解体等の計画の届出	○	○	○
5	家電リサイクル法	エアコン・テレビ等	廃棄時の適正処理	○	○	○
6	自動車リサイクル法	社用車9台 大型10t車5台 中型車4t車1台 軽トラ1台 タイヤショベル3台 バックホウ10台	リサイクル料金の支払 廃車の際は適正業者に依頼	○	○	○
7	水質汚濁防止法	エンジンオイル 廃油	事故時の届出	○	○	○
8	消防法	指定可燃物	特定施設の届出・法定検査 技術基準の遵守	○	○	○
9	フロン排出抑制法	事務所内外	簡易点検の実施 目視点検(3ヶ月毎)	別紙	別紙	○

※ 最新の環境関連法規のチェックはインターネット等により行う。

※ 対象物(工場) → 1~9

※ 対象物(工事現場) → 1、4

※ 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

・環境関連法規などの違反、訴訟等はありません。

※ 苦情処理の有無

・近隣住民等からの苦情はありませんでした。

代表者の総合的見直し

○環境経営方針について

- ・今後も社員一人一人が環境に対する意識を保ちながらそれぞれの業務に取り組んでいくことを目指す。
- ・木質ペレット燃料の製造・販売事業に関しては、熊本県に対し事業採算の改善の申し入れ・働き掛けを続けて来たが、構造的に採算改善が見込めないことから事業からの撤退を決定、当該事業年度（2022年7月~2023年6月）中に完全撤退した。

○環境経営目標及び環境経営計画

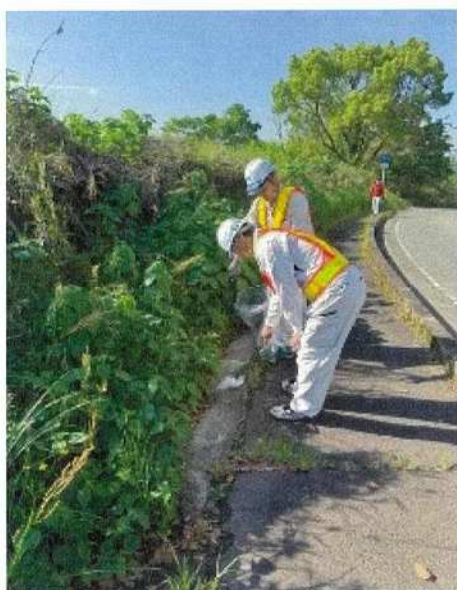
- ・本年度もカーボンニュートラル認証企業として常にゼロエミッションを目指し、共に地元企業への普及、啓発活動の実践に努めて行く。
- ・2024年8月に、熊本県SDGs事業者認定の更新手続きを進める。
- ・2024年度においても、3-Rの促進及びカーボンオフセットを行うと共に、木屑受入量増加分についてもリサイクル率の向上に努める。
- ・2024年度においても、エネルギー投入量（電気）の増加分に対し太陽光発電の増設や蓄電池の導入を図り、自然エネルギーへの転換に取り組み、低炭素社会の構築に貢献する。
- ・ガソリン使用量の達成率が低かったので、現場へは乗合で行くなど使用量の削減を心掛ける。
- ・来年度はカーボンオフセットの購入を進め、環境に貢献する。
- ・できている項目は継続し、できてない項目については意識して取り組むこと。

2024年8月30日
河津造園株式会社
代表取締役社長 先崎 尚祐

【 環境活動事例 】

ロードボランティア道路清掃 （2回/月）

場所：リサイクル工場前の県道沿い



2022年度 環境教育年間計画

2023年7月～2024年6月

承認	作成
環境管理 責任者	環境委員会 中嶋 理

○ 計画 ● 実施

教育項目	教育内容	教育資料	対象者	日 程											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境活動	今年度環境活動の取組について	自社資料	テーマ責任者	●											
				○											
エコ一般教育	エコドライブ等勉強会	自社資料	営業・ドライバー											●	
														○	
エコ一般教育	工場内環境取組について	自社資料	工 場				●								
							○								
法規制	廃棄物処理法等(マニフェスト)の取り扱い	熊本県産業廃棄物協会	事務及び営業										●		
													○		
法規制	廃棄物収集運搬の過積載防止等について	自社資料	ドライバー					●							
								○							
環境実施体制の意義	役割と取り組み等の勉強会	自社資料	全員			●									
						○									
緊急事態訓練	工場内火災防止及び緊急訓練の問題点の把握	工場	全員								●				
											○				
活動方針	予防措置、是正措置への取り組み強化	自社資料	全員									●			
												○			

* 環境教育予定の月(○計画)に予定通り実施した場合は、(●実施)の黒丸にて記入する。

本年度においても計画通り実施できた。計画外の廃棄物等の研修にも参加

【表彰状等】



【国土交通大臣賞】

【国土交通大臣賞(盾)】



【くまもと環境賞】

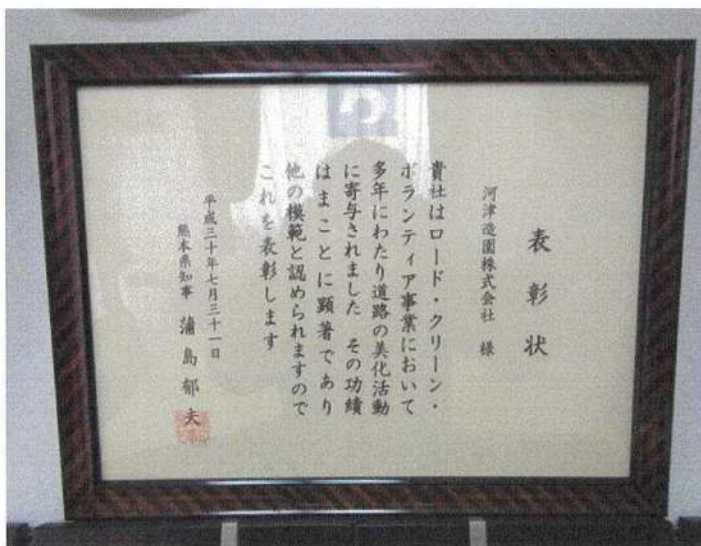
【くまもと環境賞 (永年活動表彰)】

【表彰状等】



【地方優良事業所表彰】

【熊本県SDGs登録事業者登録証】



【ロードボランティア表彰】

【エコアクション21表彰】